

横浜山手西洋館

横浜山手歴史講座を開催します

横浜山手西洋館では、横浜山手の歴史や、横浜、函館、神戸、長崎といった「開港都市」における歴史を生かしたまちづくりの事例について学ぶことのできる「横浜山手歴史講座（Ⅰ.基礎編・Ⅱ.応用編）」を開催します。

Ⅰ.基礎編「山手の歴史と西洋館」には、関東学院大学人間共生学部教授、公益社団法人 横浜山手歴史資産調査会理事 水沼淑子氏を講師にお招きします。

また、Ⅱ.応用編「開港都市の歴史を生かしたまちづくり～函館、神戸、長崎、横浜～」には、公益社団法人 横浜山手歴史資産調査会常務理事 米山淳一氏を講師にお招きします。

横浜山手の変遷と、横浜をはじめとした開港都市の歴史を生かしたまちづくりを学ぶ連続講座に、ぜひご参加ください。



写真はイメージ

■開催概要

開催日時	Ⅰ.基礎編	令和元年 11 月 7 日 (木)	13:30～14:30
	Ⅱ.応用編	令和元年 11 月 14 日 (木)	13:30～14:30
			※受付 13:00～
開催場所	ベーリック・ホール		
参加費	無料		
定員	各回 50 名 (申込不要 当日先着順)		



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

管理課 課長 河原 正継 Tel 045-228-9432

■講師プロフィール

I. 基礎編「山手の歴史と西洋館」

水沼 淑子氏

2002年関東学院大学人間環境学部教授に就任、現在に至る。博士(工学)。

神奈川県を中心に文化財関連、景観まちづくり関連の審議会委員などを務める。NPO 法人横浜山手アーカイブス理事、湘南邸宅文化ネットワーク理事。

著書に『和洋の心を生かす住まい』(彰国社)、『J. H. モーガン アメリカと日本を生きた建築家』(関東学院出版)、『日本住居史』(共著・吉川弘文館)など。

II. 応用編「開港都市の歴史を生かしたまちづくり～函館、神戸、長崎、横浜～」

米山 淳一氏

1951年生まれ。元・財団法人日本ナショナルトラスト事務局長。2009年公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事・事務局長に就任、現在に至る。

著書に『まちづくりとシビクトラスト』(ぎょうせい、共著)、『「地域資産」みんなと奮戦記』(学芸出版社)、『歴史鉄道 酔余の町並み』、『続・歴史鉄道 酔余の町並み』(駒草出版)など。

《横浜山手西洋館について》

山手本通り沿いの3つの公園には、7つの洋館が保存・公開されています。

港の見える丘公園には横浜市イギリス館と山手111番館が、元町公園にはベーリック・ホールとエリスマン邸、山手234番館が、そして山手イタリア山庭園には外交官の家とブラフ18番館があります。

各館では自由に見学ができるほか、季節に合わせたイベントを開催しています。

【開館時間】

9時30分～17時

【休館日】

- ・山手111番館、ベーリック・ホール、エリスマン邸、ブラフ18番館
第2水曜日、年末年始(12/29～1/3)
- ・横浜市イギリス館、山手234番館、外交官の家
第4水曜日、年末年始(12/29～1/3)

※ 休館日の水曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌日休み